

「持続的な企業価値の創造のための IR/コミュニケーション戦略に関する実態調査」

< 調査概要 >

1. 調査実施時期 平成 24 年 11 月 27 日～12 月 27 日

2. 回答者数 上場企業 583 社

3. 主な質問項目

企業価値に対する認識

- 企業価値や業績向上の目標の達成のための期間設定や課題
- 重視するステークホルダーや投資家とのコミュニケーションにおける課題
- 社長面談などを積極的に促したいと考える機関投資家の特徴や属性、面談の効果

経営理念等や企業文化に対する認識

- 社内に浸透させる取組とその役割
- 経営理念や共通の価値観に対する投資家の理解度

経営目標や中期経営計画の状況

- 経営目標及び中期経営計画の有無、重視する指標、開示状況、進捗の確認状況
- 業績連動報酬制度の導入状況や資本コスト、ROE に対する意識
- 業績未達時における投資家への説明方法

情報開示・IR 活動の状況

- 重視しているステークホルダーとその対話で期待するテーマと現状
- 開示情報に対する投資家の反応と社内へのフィードバック状況
- 情報開示・IR 活動の目標、効果、障害、工夫

コーポレート・ガバナンスに関する取り組みの状況

- コーポレート・ガバナンス向上に向けた取り組みの実施状況
- コーポレート・ガバナンス関連の取り組みの開示状況
- 取り組みの実践にあたり問題となっている事象
- 持続的な企業価値の創造にあたり株主や投資家に対して期待している役割

IR 体制、経営者による IR 活動の中身、IR 部署と他部署の連携

以 上